



東京都議会議員

(足立区選出)

大西 さとる

2016. 12. 16発行

Vol.113

## 都議会レポート

発行 都議会民進党政務調査会

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

## 平成28年第4回定例会閉会

平成28年東京都議会第4回定例会が12月15日閉会しました。

今定例会では、大西さとる都議が都議会民進党を代表して、代表質問を行いましたので要旨をまとめてご報告させていただきます。

今定例会は、小池知事が就任して2回目の議会であり、知事が移転を延期した豊洲市場で建物下に「盛り土」がないことが発覚した件についての責任追及、オリンピック・パラリンピック予算の減額化から待機児童問題や貧困の連鎖の問題に至るまで、都民の不安払拭のために議論を尽くしました。

本レポートをご一読頂き、都政に対する皆様からのご意見、ご要望を寄せて頂けますと幸いです。



次の世代のために

## 【豊洲市場問題について問う】当時の関係者への対応について！

大西さとる  
質問内容

Q. 盛り土問題では、未だ結論がはっきりしたとは言えません。事実関係

を明らかにする場合には全面的に協力すると述べている石原元知事など関係者に直接、聞き取りし、検証、真相究明すべきと考えますが、小池知事の見解を伺います。

## ＜小池知事＞

A. 2回の自己検証報告書により経緯と責任の所在を明らかにしています。不適切な事務処理を行った担当者には懲戒処分を行っています。また、自らもけじめをつけるという意味で給与を減額する条例案を提出しています。これらの厳正な処分をひと区切りとして、今後は信頼回復に取り組んでいくと同時に、当時の関係者の方々には今回の対応を十分に認識していただきたい。リーダー論を語るのならリーダーとしての教示を示していただきたい。自ら経緯を明らかにするなど責任を果たしていただこうと考えています。

## 【豊洲市場問題について問う】★市場業者との信頼構築について！

大西さとる  
質問内容

Q. 小池知事は、豊洲移転が、早くて来年の冬以降になるとの見通しを示しました。また、所信表明では、市場関係者に対し「設備投資など具体的な負担が発生している方も多く、大変な心配をかけていることは、都政の責任者として真摯に受け止めている」旨述べ、誠心誠意、不安の軽減に努めるとの決意を表しました。知事が直接、市場業者と向き合って信頼関係の構築に取り組むべきと考えますが、見解を伺います。

## ＜小池知事＞

A. 市場業者の方々には、豊洲市場の問題について、様々な不安を抱えている状況であり、こうした不安を、一つ一つ解消していくことが、信頼関係の構築につながると考えています。まず、豊洲市場の安全性等については、現在、専門家会議や市場問題プロジェクトチームにおいて、市場業者の意見を伺いながら、精力的に検証を進めています。また、一番重要な補償問題については、市場業者のニーズを踏まえて、更なる拡充についても検討を進めていきます。今後とも市場業者の方々とは向き合いながら、安全・安心な市場の実現に向けてしっかりと取り組んでいきます。

## 【オリンピック・パラリンピック問題を問う】★東京大会の総経費の公表と縮減について！

大西さとる  
質問内容

Q. 都議会民進党は、大会まで4年を切った現在もなお、総経費が公表されていないことが問題であり、ロンドン大会のように、速やかに総経費を公表すべきだと考えます。その上で、規模感・レベル感の検討や民間活用などの効率化、経費膨張リスクへの対応策など、総経費の削減に向けて、尽力すべきと考えます。組織委員会が整備を行う仮施設の整備費や警備費、輸送費などをはじめとした総経費を明らかにさせ、縮減に向けて一層取り組むべきですが、知事の所見を伺います。



東京都議会本会議場にて

## <小池知事> ★東京大会の総経費の公表と縮減について！

A. 平和の祭典であるオリンピック・パラリンピックを今後とも持続可能なものとしていくためには、「アジェンダ2020」が初めて適用される東京大会において、限りある資金の有効活用を図り、経費を抑制しながら、大会を成功に導いていかなければならない。4者協議やリオデジャネイロ大会のデブリーフィングなどを踏まえ、大会総経費の縮減に向けて、来年以降も不断に経費を精査し、順次、大会予算に反映させていきます。

## 【知事の基本姿勢を問う】★情報公開について！



Q. 知事が一丁目一番地と言われた、都政の透明化、見える化に欠かせない情報公開を一層推進するため、公開を前提とした文書の作成、保存及び廃棄に関して、基準その他必要な事項を条例化することで、都民に開かれた都政を実現すべきと考えますが、知事の見解を伺います。

## <小池知事>

A. 都民ファーストの観点から、都政の透明化、見える化を進めていくために何よりも重要なことは、全庁を挙げての情報公開の推進です。そのためには、公文書の適正な管理を実現し、都庁の隅々にまで浸透させる必要があります。適正な文書管理は、情報公開制度とあいまって、都民に対して都政への参加を進めるとともに、行政が説明責任を果たす際の基盤となるものであります。

今回の豊洲市場における文書管理の問題を受けて、今後、同様の事態が発生することがないように、まずは東京都文書管理規則を年度内に見直します。さらに、公文書の管理に関して来年度早期の条例化を検討するよう指示しました。このような取組を通じ、公文書の適正な管理を進め、都民と共に進める都政を実現していきます。

## 【子育て・教育について問う】★貧困による学びの格差について！



Q. 都議会民進党は、全ての子どもたちが学ぶことができる都独自の給付型奨学金の創設を求めてきましたが、改めて早期実現を求めるものです。また、国の高校中退者数調査によると、生活保護受給世帯の子どもの中退率が、全世帯平均の3倍に上っています。貧困たたきの風潮もありますが、貧困の連鎖は断ち切らなければなりません。所得格差を教育格差にしてはなりません。知事が定める教育施策大綱の骨子では、経済状況にかかわらず、全ての子どもが学び続けられる教育の仕組みが必要だとされており、そのための支援が不可欠です。貧困による学びの格差をなくしていくべきと考えますが、知事の見解を伺います。

## <小池知事>

A. 将来を担う子供たちの教育の機会が平等であるべきであり、家庭の経済状況が子供たちの将来を閉ざすことがあってはなりません。そのために、全ての子供が学び成長し続けられるよう、社会全体で子供の学びを支える仕組みを作ることが大切であります。

具体的には、誰もが安心して学び、自己の可能性を伸ばすことを支援する都独自の給付型奨学金を創設するとともに、生きる礎となる基礎学力の定着の徹底や、学校、家庭、地域の連携による社会的自立に必要な力の育成などを行っていく必要があります。こうした考えに基づき、来月には新たな教育施策大綱を策定し、教育委員会と力を合わせ、東京の未来を担う人材を育成する教育を実現していきます。

## その他の大西さとる都議が取り上げた課題の内容を紹介します！

- ◆2020年に向け、格差のない東京の実現に向けた政策を展開していくべき！
- ◆将来の進学や就職に向けて、子どもの社会的自立支援を充実すべき！
- ◆様々な教育現場の課題に対して、教員が子どもたちに向き合える環境整備に取り組むべき！
- ◆女性の活躍に向けた子育て支援・家庭と仕事の両立支援など、包括的なパッケージでの施策をより一層推進すべき！
- ◆仕事と介護の両立に向け、介護サービスの充実、介護休業・介護休暇の取得支援を拡充し、介護離職ゼロを早期に実現すべき！
- ◆仕事と病気の治療の両立を積極的に推進すべき！
- ◆2020年の先を見据えたスマートエネルギー都市の実現に向けて政策を展開すべき！
- ◆ゼロエネルギーハウスのような環境性能の高い住宅の普及に向けて積極的に取り組むべき！
- ◆豊洲の土壌汚染対策工事として、安全対策は効果的であったのか検証すべき！
- ◆都に対して出捐金の一部を返還した組織委員会の責任の追及が必要！
- ◆2020年東京大会を経て、大幅に増加が予想される外国人訪日客の交通利便性を高めるために、東京の鉄道ネットワークを強化・改善が必要！

※各項目の詳細についてはHPをご覧ください。

# 子どもが大好き!!



## 【大西さとるプロフィール】

昭和36年生まれ。立命館大学経済学部卒、早稲田大学大学院修士課程修了。11年間のサラリーマン生活ののち、細川律夫衆議院議員第一秘書を経て、平成13年都議選に挑戦するも惜敗、平成17年に都議選に初当選。文教委員会委員長、オリンピック招致委員会理事、都議会民進党幹事長代行などを歴任。現在3期目、都議会民進党政務調査会長、財政委員会理事。

## 東京都議会議員 大西さとる事務所

〒121-0816 足立区梅島1-12-6 高橋ビ2F  
Tel 03-3849-7847 Fax 03-3849-7846  
E-mail satoru@onishi-satoru.jp  
HP <http://onishi-satoru.jp>

大西さとる 検索